



【 ひびけ声 明るい笑顔 みんなの夢舞台 】

学習発表会 後半の部

54号で前半の部をご紹介しました。今回は後半の部です。

《5・6年生》 創作劇「雲の上から三武将」

5・6年生の子ども達は、『家族や下級生、そして地域の方々に楽しんでもらう』ということを目指していたそうです。

歴史上の登場人物（三武将：信長・秀吉・家康、ザビエル）から、現代生活を捉えたら・・・というお話の創作劇でした。衣装や小道具も手作りでごんばりました。衣装が一番似合っていたのは誰でしょう？

三武将、ザビエル、現代の若者など、それぞれが役作りに励み、役になりきって演じました。（総練習の時より、更に上手になっていました。）随所に笑いもあり、会場全体が笑顔になれる劇でした。

お客さんに喜んでいただき、満足感を感じたことでしょうか。さすが神浦小学校のリーダーたる高学年でした。



《職員・児童：神浦ぬ宝（ピギン：島人ぬ宝の替え歌）》

職員の出し物として、「島人ぬ宝」の替え歌、神浦小学校バージョンとして「神浦ぬ宝」を歌いました。ふるさと神浦を、そして宇久島を大切に、愛してこられた地域の皆様の地域愛や伝統、心を少しでも込めることができればいいなと言う気持ちで作って歌いました。この神浦や宇久島の未来を担う、神浦の宝の一つである子ども達の力を借り、そして地域の皆様と心をつなげて一緒に歌うことができればいいな・・・という思いがありました。



《合唱：ふるさと、大唄（おうたい）》

最後は全児童による「ふるさと」の合唱と龍神祭（ひよひよ祭）でも披露した「大唄（おうたい）」でした。「ふるさと」は今年のNHK合唱コンクールの課題曲となった曲です。少人数での合唱は少し難しかったのですが、ふるさと神浦を思いながら歌い上げました。また、伝統である大唄も6年生のリードのもと、一人一人の声が繋がりがあ、心をつなげて歌い上げることができました。会場全体に響いた子ども達の声と心は、きっと会場の皆様の心にも届いたことでしょうか。



帰り際に、そして後日、子ども達へのお褒めの言葉を多数頂きました。日頃から、神浦小学校を支えてくださっている皆様に、感謝の気持ちを込めて、14名の子ども達がたくましく成長している姿をお見せする事ができてよかったと思っています。ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。